



Fig. 2 (1) Piercing stud which has a 6 mm length and 1.2 mm diameter for the ear lobe.
 (2) Piercing stud which has a 7 mm length and 1.6 mm diameter for the ear lobe.
 (3) Hoop earring and insertion needle that the American technicians use.

激しないように完全な球状がよいとも考えた (Fig. 2)。そのためガン式のピアッサーではなく使い捨てのピアッサー (Fig. 4) に装填することになった。

軟骨用ピアッサーを使用して

本ピアッサーはすでに国内では厚生省の、米国ではFDAの承認を取得して1997年3月から10カ月間で1万台以上が使用された。また私自身も500例以上に使用し、耳垂に対してよりも長く6~8週間は外さずにケアを行うように指導した結果、合併症は従来よりも減少した。また合併症が起きて早期に治療³⁾を開始すれば以前のように治癒に難渋することもな



Fig. 3 The shorter stud will compress the ear. The longer stud will be caught in towel or clothes easily. The effective length was determined to be 7 mm.

く、耳垂とほぼ同じような経過をたどることも経験した。本ピアッサーで起きる合併症をみるとほとんどはピアッシングから1カ月以上経過した頃に、タオルや衣類、ヘアブラシなどでピアスを引っかけたことから発症している。最初の1~2週間は慎重であっても、それ以後は気が緩むのではないかと考えられる。

このことから最近では、軟骨部へ2週間程度ピアスを装着していると出血することはないであろうし、軟骨にあいた孔が収縮しない程度の不可逆性の変化が起きると考えて、2~3週間後に本来の目的であるリング状のピアスに交換するように指導方法を変更している。この変更によって合併症はほとんどなくなった。

考 案

我国では最近の10数年間にピアスをする人達が急激に増えていて種々の合併症に悩む人も確実に増加している。佐南らは女子大生を中心とした572人のアンケート集計⁴⁾で、39%